

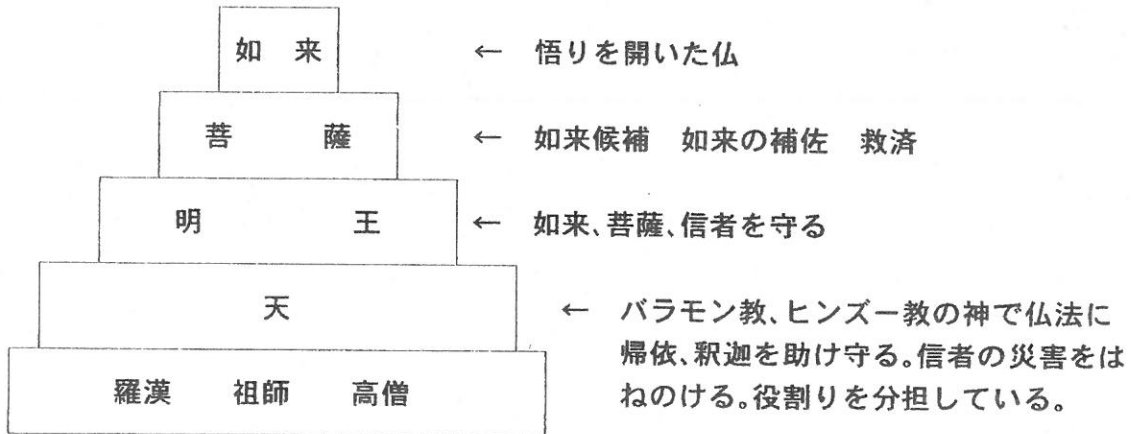
仏像は、本来信仰心が尊崇の対象としてつくったことは言うまでもない。芸術作品としての彫塑ではない。しかし、芸術的に優れたものが多く残されている。仏像を拜む機会を得た時の基本知識に若干ふれてみよう。

釈迦の、偶像化はタブーとされ、仏像は造られなかった。信者は、釈迦が悟りを開いたとされる菩提樹や、釈迦の足跡を刻んだ仏足石を礼拝の対象としていた。

石彫で仏像が造られたのは、BC 1 末西北インドガンダーラと中インドのマトゥラーの地方で釈迦をモデルにしたのが始まりとされている。

1 仏像の種類

仏像は、仏教における信仰の対象として造られたものですから、仏像には仏教の教え、仏教の神髄がさまざまな形で表現されています。



如来 (によらい)

如（真理）の世界から来世した悟りを開いて仏になったもの仏界の最高位に位置する。当然人間とちがった特徴をそなえており装身具などはつけていない。螺髻 頭部に肉髻（にくけい＝知恵瘤）白毫（びやくこう＝眉間の光）

- 釈迦如来 仏教の開祖、釈迦族の聖者釈迦の仏陀となった姿。全ての仏像の基本形
- 薬師如来 人間の病苦を癒し内面の苦悩を除く、東方瑠璃光世界の教主延命を施す。
- 阿弥陀如来 インド王族の太子で大願を成就して西方浄土の教主。臨終の際迎えにくる。梵語のアミタ（無量無限）念仏 往生
- 大日如来 太陽神崇拝に基づいて考えだされた仏。宇宙の根本仏、中心仏。密教の絶対的存在

菩薩 (ぼさつ) 菩提薩埵 (ぼだいさつ) 梵語ボダイサツタ

観音＝観世音菩薩

モデルは釈迦の王子時代で古代インド王のきらびやかな装飾を付けた姿が多い。
悟りを求める人、如来の境地に達しようと努力している存在。

聖観音（しょうかんのん）	観音菩薩の基本形
弥勒菩薩（みろくぼさつ）	慈悲の意味で釈迦の弟子 56億7千万年後に如来となることを約束された未来仏
観世音菩薩・観自在菩薩	変化自在で現世利益の救済を施すとされる。
如意輪観音（によいりん）	手に持つ如意宝珠であらゆる願いを叶える。法輪で煩惱を破壊する。
十一面観音（じゅういちめん）	だれにでもあらゆる願いを叶える。
千手観音（せんじゆ）	無限の救済を千本の手で叶える。
不空羂索観音（ふくうけんさく）	手に持つ羂索で確実に救済する。
馬頭観音（ばとう）	頭に馬頭 天馬のようにすみやかにあらゆる障害を乗り越え目的を達成する。
准胝観音（じゅんでい）	衆生を救済するため多くの仏を生んだ女性尊
勢至菩薩（せいしぼさつ）	知恵の光で一切を照し無常の力を得させる。
文殊菩薩（もんじゆぼさつ）	知恵をつかさどる菩薩
普賢菩薩（ふけんぼさつ）	仏の理性を示す菩薩
日光・月光菩薩（にっこう・がっこう）	薬師如来の脇侍
虚空蔵菩薩（こくぞう）	廣大無辺の功德をもつ菩薩
地藏菩薩（じぞう）	大地の恵を神格化した菩薩

明王

（みょうおう） 大日如来の怒りの化身 悪を破る密教の使者

（五大明王）

不動明王（ふどう）	五大明王の中心
降三世（こうさんぜ）	東方に位置 貪欲、怒り、愚痴の三煩惱を打ち破る
軍荼利（ぐんだり）	南方に配置され障害や災害など全ての悪を振り払う
大威徳（だいいとく）	西方に配置され悪から守る 阿弥陀如来の化身
金剛夜叉（こんごうやしや）	北方に位置 人間の煩惱や悪を打砕く

愛染（あいぜん）	愛欲と煩惱を浄化させ菩提心にかえる赤い顔の明王
孔雀（くじゃく）	恐怖や苦しみを取り除異安泰をもたらす女性の明王
大元帥（だいげんすい）	全ての明王の総帥 あらゆる敵を退散させる

天部

仏を守護する役割 モデル 釈迦が王子の頃仕えた家来
仏教以前のバラモン教、ヒンズー教の神々を仏教にとりいれ、護法神としたもので本来天空に住むという。

（貴人系）

梵天（ぼんてん）	最高位の天 釈迦に説法をすすめる。バラモン、ヒンズーの神 鵜鳥に乗る。
----------	-------------------------------------

帝釈天（たいしゃくてん） 梵天と一対になって釈迦を助ける インド神話の戦闘の神 象に乗る。

（天女系）

吉祥天（きっしょうてん） ヒンズー教の富と繁栄の神。五穀豊穰、国家鎮護美女の代名詞

弁才天（弁財天一鎌倉以後）（べんざいてん） 学芸上達、富貴を与える。琵琶を持つ裸弁天。銭洗い弁天。

訶梨帝母（かりていも 鬼子母神） 吉祥天の母、5000人の母で他人の子を食荒らす。改心して慈母 子どもの守り神。

（武将系）

四天王 持国天（じこくてん） 東方の守り神 邪鬼の上に立つ
增長天（ぞうちょうてん） 南方の守り神 〃
広目天（こうもくてん） 西方の守り神 〃
多聞天（毘沙門天）（たもんでん・びしゃもんでん） 北方の守り神

金剛力士（仁王） 執金剛神が二体に別れて寺の門の左右に立つ。釈迦の傍にいて、仏法を守る。口を開ける「阿形」（右）、口を閉じる「吽形」（左） 裸形が多い。

十二神将 薬師如来の眷属 十二支にちなんだ守護神。薬師如来を敬う信者の為に一際之苦難を取り除こうと働く。

武器をもって薬師如来のまわりをとりまくように位置する。

毘羯羅（びがら）	子	珊底羅（さんでら）	午
招杜羅（しょうとら）	丑	額爾羅（あにら）	未
真達羅（しんたつら）	寅	安底羅（あんてら）	申
摩虎羅（まごら）	卯	迷企羅（めきら）	酉
波夷羅（はいら）	辰	伐折羅（ばさら）	戌
因達羅（いんだら）	巳	宮毘羅（くびら）	亥

大黒天（だいこくてん） 仏法の守護神、戦闘神、忿怒神であるが、民間信仰と結んで「だいこくさま」「厨房神」となる。

（鬼神系、鳥獣系）

八部衆 古代インドの鬼神八体で釈迦の説法に教化された異教神 釈迦如来の眷属。釈迦涅槃の時も集まる。話題となった「阿修羅」はその中の一体。

二十八部衆 千手観音の眷属。千手観音を信じる人々を守る役割。風神・雷神もその仲間、その他、天部もダブってふくまれている。

歡喜天（かんぎてん） ヒンズー教の神 仏教に帰依し障害をなす摩神を支配する神。象頭人身。

羅漢

(らかん)

仏道を修行し煩惱をたちきり人々の供養をうけるにふさわしい境地にはいった人たち

十六羅漢
五百羅漢
十大弟子
祖師の像

2 仏像の姿勢

立像 直立像
遊行像 (歩行のかたち)
座像 結跏趺座像 (けっかふざぞう 座禅のかたち)
跪座像 (きざぞう 正座のかたち)
箕座像 (きざぞう 両足をなげだしたかたち)
蹲踞像 (そんきよぞう 片足をを立ててすわる)
倚像 (いぞう) 台座や椅子に腰をおろす
半跏思惟像 (はんかしゆいぞう かた足を組んで考える)
臥像 (がぞう 横になっている)

3 台座

蓮華座 菩薩・如来の多い
岩座 天部が多い
雲座 阿弥陀如来 飛天
邪鬼座 四天王
鳥獸座 獅子 — 文殊菩薩 象 — 普賢菩薩・帝釈天
鵝鳥 — 梵天 牛 — 大威徳明王
孔雀 — 孔雀明王

4 彫塑

木彫仏 一本彫り 寄木 漆箔
石彫仏
金銅仏

(2016・7・15 藤田 正雄)